

教育セミナー報告 1

第 1 回 医療安全教育セミナー

「インシデントレポートの活用と対策としてのマニュアルを考える」 2016年8月27日(土)開催

講師に早稲田大学理工学術院の小松原明哲先生をお招きし、「インシデントレポートの活用と対策としてのマニュアルを考える」と題しご講義いただきました。講義では、ヒヤリハットを共有する事の大切やレジリエンス力を向上させることで事故防止につながる事、さらにマニュアル作りでは第1に現場で実行可能であるか考える事、また面倒なものは「何故そうになっているのか」理由と共に指導することが大切であると学びました。グループワークでは日頃の悩みを出し合い、お互いの取り組みを意見交換し、先生からのアドバイスを受け、明日からの医療安全活動へ繋げていきたいと思いました。
(大月市立中央病院 今泉光代)



教育セミナー報告 2

第 2 回 医療安全教育セミナー

「事例分析手法を学ぶ 時系列事象関連図を用いて」

2016年10月22日(土)開催

近年、研究会の大会でも多くの事例が報告されるようになりましたが、「どのように分析すればよいのか」という皆様からの声のもと、今年度は「時系列事象関連図を用いた事例分析を学ぶ」をテーマに研修を開催しました。健康科学大学看護学部 小林先生のご講義で、事例を多角的に分析し要因を抽出することが重要であることを学び、後半のグループワークを通して実際の分析手法を学びました。国が医療安全に取り組むきっかけとなった横浜市立大学医学部附属病院の患者取り違えの事例のもと、時系列事象関連図を作成し PmSHELL モデルを用いて対策の立案まで行いました。短い時間でしたが、お互いの意見を出し合い、現場に生かせる研修でした。
(市立甲府病院 野口美奈子)



第 12 回大会のお知らせ

日時：2017年3月4日(土) 10時～15時30分

場所：ぴゅあ総合(甲府市朝氣1-2-2)

特別講演：「患者安全を文化にするために」

—千葉県がんセンター、群馬大病院の医療事故調査の経験から—

講師：江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授

隈本邦彦氏

総会：医療安全活動・実践報告

(詳しくはホームページをご覧ください)

施設見学報告

ヤクルト本社工場見学 2016年11月12日(土)開催

今年は、「医療」に大きく関連する「食の安全」に目を向け、ヤクルト本社富士裾野工場を見学しました。ヤクルトの創業者の話からジョアの空き容器のリサイクルまで幅広い内容の説明を受け工場内の見学をしました。「安全」への取り組みでは、「ISO9001」や宇宙食の安全性を保障するシステムである「HACCP(危害分析と重要管理)」を導入し、就業時間の三分の一をかけて、使用した機械器具類を手洗い洗浄するなど安全への意識はとて高いと感じました。食の安全は、「人の命を守るため、信用を失わないことが大切」「品質は人質」という、30年間管理職をされていた案内担当の斎藤氏の言葉に、ヤクルトの安全と組織文化の高さを知ることができました。医療安全も同様です。食品の安全から、医療安全を考えた一日でした。その後、三島スカイウォークで日本一長いつり橋を渡ってきました。揺れた～。(県立北病院 佐野睦美)



専従リスクマネージャーの紹介 NO.9

山梨勤労者医療協会甲府共立病院 医療安全管理者 市村琴美

昨年度より甲府共立病院の医療安全管理者になりました市村です。当院の医療安全管理室は、感染管理認定看護師の小林主任と2人の職場です。医療安全と感染対策の立場から意見交換を行い、業務改善の検討なども行っています。医療安全専従の主な活動は、院内からのインシデントレポート・アクシデントレポート報告から、各部署から選出された委員で構成されているセーフティマネージャー会議や医療安全管理委員会などで改善策を検討し、日々奮闘しています。その他、医療安全に関するテーマ別の研修会を企画し、セーフティマネージャーは院内ラウンドも行っています。全職員が医療安全に関わっていることを意識できる環境づくりを行ってきたいと思います。

山梨医療安全研究会では先輩方からのアドバイスをいただきながら、知識や技術を向上させ、安全安心な医療の提供が出来るように頑張っていきたいと思います。



医療安全管理者 市村琴美(左)
感染管理認定看護師 小林智子(右)

書評コーナー

「医療安全管理実務者標準テキスト」

監修：日本臨床医学マネジメント学会 へるす出版

このテキストは初めて医療安全管理に関わる多職種のどなたでも現場実践応力がマスターできる一冊です。医療事故の起こらない日常診療体制時の構築を目指すレジリエンス・エンジニアリングから有事でもすぐに活用できるように最新の考え方や手法をナビゲーションで紹介し活用できる事が特徴です。有害事象が起こったとき、病院長、医師、看護師、医療安全管理者、及び各専門職種が誰と連携し、どのように動くのか具体的に分かる「最新版ガイドブック」です。
(白根徳洲会病院 清水恵子)